

新入社員の活躍、タイムリーに発信

専用アプリ運用開始

教育制度、イベントなど配信 求人支援の一环

社労士法人東海労務保険事務所

社会保険労務士法人東海労務保険事務所（岡崎市井内町、岡田祥輝代表社員、電話0564・53・0656）は、顧問先の新入社員の活躍をタイムリーに伝えるスマートフォン用アプリの運用を始めた。企業の教育制度やイベント、新入社員の声などを配信。顧問先の求人支援につながる狙い。岡田代表は「中小企業の魅力の一つである面倒見の良さを知ってもらえるようにした。愛知県での就職を考える学校の先生や生徒、親御さんに見てもらいたい」と話している。（岡崎・片桐芳樹）

同法人は「東海センター」の名称で、昭和40年代から顧問先の九州地区での求人活動の支援を展開している。同センターの参加企業

は現在、ニノミヤ（西尾市横手町）、平坂鋳工（同市平坂町）、マルトモ（名古屋市港区）、奥村鑄造（碧南市福清水町）、首藤鐵工

所（大府市大東町）の5社。鹿児島や宮崎の両県を中心に、高卒の新入社員を受け入れている。

同センターの参加企業は、人材定着を図るため、教育訓練制度の充実や技能検定合格に対する報奨金制度、メンター制度の導入などの取り組みを進めている。



「愛知就職」のトップ画面



岡田祥輝
代表社員

る。3年前からは、5社の入社2年目までの社員を集めてバーベキューやボウリング大会などのイベントを企画するなど、企業を超えて同郷の若手社員が触れ合える場づくりも行っている。

岡田代表は「せっかく良いことを実行していても、発信しなければ人材確保につながらない」と考え、今回の専用アプリを開発することにした。ホームページでも情報は伝えているが、より手軽に見られるスマホアプリに着目した。アプリの名称は「愛知就

職」。イベント風景や新入社員の声など九州から就職した若手社員の活躍を伝えたり、企業の取り組み紹介、採用担当者声などを届ける。離れて暮らす親子の距離感を縮まるよう

な雰囲気づくりに工夫した。同アプリを活用して先生や生徒、親に加え、広く県外から愛知県に就職を検討している人への情報発信につなげていきたい考えだ。

